

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第5回 MP 専門委員会 開催日：11月19日。出席者：阿部光延委員長，ほか8名。

1. 第114回講演大会の報告，反省
2. 「鉄と鋼」特集号の検討
3. MP 専門委員会活動方針（案）と当面の実行計画について
4. 第115回講演大会の募集とプログラム編成について
5. 第116回講演大会の方針
6. その他

第8回 和文会誌分科会 開催日：11月6日。出席者：鈴木委員長，ほか33名。

1. 24件の論文審査報告がなされ，掲載決定11件，照会後掲載可11件，修正依頼1件，その他1件であった。
2. 「鉄と鋼」第74年第3号（3月号）に論文10件，技術報告6件掲載決定した。

第8回 英文会誌分科会 開催日：11月13日。出席者：佐久間幹事，ほか17名。

1. 29件の論文につき審査報告がなされ，修正依頼23件，返却6件であった。また，8件の New Technology 記事につき審査報告がなされ，掲載可3件，修正依頼5件であった。
2. 「Trans. ISIJ」Vol. 28, No. 2 の掲載原稿を決定した。

第5回講演大会分科会 開催日：10月23日。出席者：鈴木委員長，ほか15名。

1. 第114回講演大会の反省
 - (1) 聴講者数について
 - (2) 会場の運営について
2. 「材料とプロセス」表紙デザインについて
3. 講演プログラムの掲載方法について
4. 討論会講演論文の分冊掲載について
5. 第115回，第116回講演大会講演募集およびプログラム編成日程について
6. その他

ISO 運営委員会

ISO 運営委員会 SC1 諮問部会第24回会議 開催日：10月30日。出席者：佐伯正夫部会長，ほか11名。

1. DTR 9769 (鉄鋼分析方法概要) 及び DIS 4938 (Ni-重量法/滴定法) のコメント処理及び修正テキストについての報告
2. DIS 9441 (Nb-吸光光度法) 及び DP 9658 (Al-原子吸光法) に対する技術的コメントの諮問
3. 第12回国際会議への事務局提出資料に対する諮問
4. ISO 規格制定状況の報告……現在 DIS が7件，

DTR が1件あり，明年中に ISO になる予定

5. 出張報告……北米，欧州（9月）及びオーストラリア（10月）への出張内容についての報告
6. 第12回国際会議（於シドニー）の開催準備状況の報告

共同研究会

第71回製鉄部会 開催日：10月29, 30日。開催地：神田・学士会館。出席者：渋谷部会長，ほか119名。講演，共通議題及び自由議題による発表，討議を実施した。

議事；

1. 講演（テーマ名及び発表事業所）
焼結鉄新評価技術とその応用 新日鉄製鉄研究センター
2. 共通議題
高炉の長寿命化技術 9件
3. 自由議題・新設改修報告 9件
4. コークス部会報告

第35回コークス部会 開催日：11月12, 13日。開催地：新日鉄・大分。出席者：石川部会長，ほか120名。共通議題，自由議題及び特別報告の発表討議のほか工場見学を実施した。

1. 議事

- (1) 共通議題
テーマ；コークス炉移動機械，炉蓋，金物の設備管理について 12件
- (2) 自由議題 5件
- (3) 特別報告
 - (a) コークス製造国際会議報告（独エッセン）
三菱化成 坂出
 - (b) 第71回製鉄部会報告

2. 工場見学

新日鉄大分コークス工場第2高炉

第46回条鋼部会

大形分科会 開催日：11月19, 20日。開催地：新日鉄君津。出席者：小椋主査，ほか89名。

1. 工場操業状況
2. テーマ研究：「大形工場における工程管理の現状と問題点—注文から倉庫出荷まで—」に関する発表が各事業所より計11件あった。
3. 自由研究：6事業所より各1件の発表があった。
4. 特別講演：「君津大形工場建設思想と今後の課題」（新日本製鉄（株）板橋氏）
5. 工場見学：新日本製鉄（株）君津製鉄所大形工場

第63回条鋼部会

中小形分科会 開催日：11月12, 13日。開催地：川鉄（株）水島製鉄所。出席者：光武主査，ほか90名。

1. 工場操業状況（昭和62年4月～昭和62年6月）

2. テーマ研究報告

普通鋼グループ：「組替，カリバー替，型決めについて」(ロール管理を含む) 特殊鋼グループ：「生産管理システム」(納期短縮・在庫低減を含む)

3. 自由研究報告

報告件数：合計 17 件

4. 工場見学・川崎製鉄(株)水島製鉄所線棒工場

鉄鋼分析部会

第 17 回表面分析小委員会 開催日：11月5日。開催地：新日鉄・名古屋製鉄所。出席者：大坪委員長，ほか 11 名。

1. イオンスパッタリング共同研究経過報告
2. AES 定量分析共同研究経過報告
3. AES 状態分析共同研究経過報告
4. XPS 定量分析共同研究経過報告
5. XPS 状態分析共同研究経過報告
6. GDS 共同研究経過報告

第 7 回化学分析分科会 開催日：11月5日。開催地：新日鉄・名古屋製鉄所。出席者：岩田主査，ほか 47 名。

1. 各 WG の経過報告
 - (1) ほう素 WG
 - (2) リン WG
 - (3) タンタル，ニオブ WG
2. 新規テーマの検討経過報告
 - (1) Cr, V (電位差滴定法) の JIS 化
 - (2) As 定量下限拡大
 - (3) 鉄鉱石 JIS 改正
3. 自由研究報告・発表件数 3 件

第 42 回品質管理部会

機械試験小委員会 開催日：11月4, 5日。開催地：神鋼・加古川。出席者：川井委員長，ほか 40 名。

書 評

超伝導材料

材料テクノロジー第 19 巻

堂山昌男・山本良一編
伊原英雄・戸叶一正著

今年に入つて，臨界温度の極めて高い酸化物系超伝導材料があいついで発見され世界的に注目を浴びている。本書は，次に示すように超伝導および超伝導材料とその応用に関する広範囲にわたる事項について豊富な図表を交えて解説している。また，参考資料も多数紹介されている。真にタイムリーな出版である。

1. はじめに
超伝導材料とは，超伝導材料の開発課題，開発史
2. 超伝導の基礎知識
超伝導現象とその基本的特性，基本的特性の現象論，超伝導の基礎理論，高臨界温度超伝導体の可能性
3. 超伝導材料の特性
元素超伝導体，合金超伝導体，化合物超伝導体

機械試験に関する標準化，自動化・能率化，及び検査制度についての活動報告，討議更には工場見学を実施した。

1. 議 事

(1) 標準化	5 件
(2) 自動化，能率化	5 件
(3) 検査制度	3 件

2. 見 学

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所の線材工場，機械試験関連設備の見学を実施した。

標準化委員会

標準化委員会 ISO 鉄鋼部会 SC1 分科会第 84 回会議 開催日：10月30日。出席者：佐伯正夫主査，ほか 8 名。

1. 各 WG の進捗状況報告……WG 13 (B-MAS), WG 15 (Ti-MAS), WG 16 (Mn-AAS), WG 17 (Ca-AAS), WG 18 (ET-AAS), WG 19 (Cr-AAS), WG 21 (Al-AAS), Ad hoc (統計処理) についてそれぞれの進捗状況の報告があり，日本としての対応を審議した。
2. DIS に対する日本回答案の検討——DIS 4935 (S-HF-IR), DIS 9647 (V-AAS) 及び DIS 9556 (C-HF-IR) の 3 件にそれぞれ賛成の回答をすることにした。
3. NWI に対する日本回答案の検討……非結合炭素の燃焼赤外線吸収法を NWI として採択することに同意する回答を出すことにした。なおこれまでの燃焼重量法の棄却にも賛成する。
4. 第 12 回国際会議の日本代表について……SC1 分科会主査と大同特殊鋼(株)の委員が出席することにした。今後の選考方針も取り決めた。

4. 超伝導体の材料設計

材料設計対象と設計プロセス，高臨界温度超伝導体材料の設計方向，フォノン機構の極限追求，臨界温度の評価，高臨界温度超伝導体・新機構超伝導体の設計，高臨界磁界をもつ材料の開発，GEPSC 計画

5. 超伝導薄膜および超伝導体表面

超伝導薄膜の重要性，超伝導薄膜作製法，元素・合金・化合物超伝導体薄膜，多層膜超伝導体，超伝導体表面の特性

6. 超伝導材料の製造法

合金系・化合物系超伝導線材の製法，超伝導線材の臨界電流密度・磁気不安定性・交流損失・応力効果，実用超伝導体の構造

7. 超伝導の応用

物性研究・エネルギー技術・輸送機関・医療・産業機器などへの応用

8. 今後の展望

超伝導材料開発の今後の展望，超伝導に関連した資源問題，超伝導関連技術 (坂木庸晃)

A5 版 351 ページ 3200 円

1987 年 6 月 東京大学出版会発行